
オシャレ・ライダー

スグル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オシャレ・ライダー

【Nコード】

N1031C

【作者名】

スグル

【あらすじ】

この物語は、『オシャレ』に賭けた一人の少女の戦いの物語である。

この世界には、『オシャレ』という言葉が存在する。言葉の意味は、辞書で調べてみれば良いだろう。ちなみに、WIKIには載っていない。

あの人の服、オシャレだねー、とか。この部屋、オシャレー、この曲、オシャレー。あの人の拳法の構え、オシャレー。貴様の單車、オシャレやなー、ワレー！など。世界は、オシャレに溢れている。

この物語は、そんな『オシャレ』に命を賭けた者たちの激しく切ない物語である。

西暦2007年、初夏のS玉県Kスカベ市。

桜が散り、緑の木々の間から、優しい陽気が漏れている。そんな柔らかな日差しの中を、ヴィトンのカバン（メイド・イン・チャイナ）を片手に一人の少女が歩く。彼女は天気が良いから、気分も良いのか、鼻歌を口ずさみながら、軽いスキップで地面を蹴って進む。少女の名前は、越島ジェリ。19歳の浪人生のニート。アパート暮らしで、お金がないのに、食費削ってまで、オシャレに費やす、オシャレ好きの少女。今着ている服だって、夏物のどことなくオシヤレな服装だ。

そんな彼女が狙っている大学は、『都立オシャレ大学』。就職率2%、オシャレ率100%の今さえ良ければ、それでいいという思春期な大学。そのオシャレ大学に行くと、ハイレベルなオシャレな勉強をし、オシャレさんになり、うまく行けば、芸能界入り出来る、まさにオシャレのためのオシャレな大学だ。

しかし、この大学に、入学するには、一つ条件があった。それは、試験の可否で入学させるのではなく、入学手続き金の100万円を払えば、誰でも入学出来るという、斬新な入学手続きをする大学な

のだ。

そのため、越島ジエリは入学資金稼ぎのため、日々、宝くじ、競馬、パチンコをして、資金を稼いでる、たちの悪いニート少女だ。

そして、彼女は今、さすがにお金がなくなっただので、親の仕送りが入っている口座から、お金を引き出しに、銀行へ向かっているのであつた。

しかし、この後、銀行で彼女はとんでもない事件に巻き込まれる。

彼女が、街中の『ハッピー・ライフ・ジエネレーター銀行』の近くに着くと……。なんと、銀行の周りには、多くの人々、警官、パトカーの姿が。なにやら、深刻な状況のようだ。

「あらら……。なにがあつたのかしら……」

と、彼女が近くまで寄り、近くにいた野次馬に話し掛けた。

「なにが、あつたのですか？」

「ハッピー・ライフ・ジエネレーター銀行に、強盗が入つたんだよ」と、野次馬のリーゼントの制服の少年が、そう言う。

「まあ、ハッピー・ライフ・ジエネレーター銀行に、強盗が！」

「そうだよ、ハッピー・ライフ・ジエネレーター銀行に強盗が」

彼女は両手を顔に当て、驚く。

「しかも、犯人は集団ではなく、一人で卑怯にも、通りすがりの『東京喫茶・山田』さんを入質にしゃがった」

と、リーゼントの彼は言う。

「（誰……？）それは大変ですねー」

と、彼女は自分の口座から、金が盗られてないかだけを心配して言う。

「しかも、強盗は、ただの強盗ではなく、『都立オシヤレ大学』卒業生で、芸能界に行きたかつたけど、行けなくて、やさぐれて、ニートになり、博打にハマリ金が無くなって、強盗になった、『オシヤレ強盗（別名、オシヤレ泥棒）・ロボットダンス・勝彦』なんだ

！」
何故か、強盗の事情に詳しい彼は頼んでもないのに、勝手にベラ喋り始めた。

「『オシヤレ強盗』ですって！」

オシヤレ好きの彼女は、その言葉に、かなり反応した。同時に、自分の現在の状況と、彼の事情が被っていて、耳が痛かった。

犯人は、彼女が懂れているオシヤレ大学の卒業生。そして、わけのわからないアダ名を付けられている。これは、大変だ。

「ヘイ！ユー！！お金出しちゃいなよ！！」

と銀行から、大声が響いた。その声は、『オシヤレ強盗・ロボットダンス・勝彦』だ。

その声を聞いたジエリは、リーゼント君から離れ、野次馬を掻き分け、犯人が見える位置まで行った。

銀行の前に、オシヤレ強盗・ロボットダンス・勝彦（めんどくさいので、以下、『オ口勝』と略させてもらう）が、東京喫茶・山田さんの体を盾に、彼の頬に銃を向けていた。

「見てて痛々しい、本当に無駄な抵抗はやめて、おとなしく人質を解放しろ！」

刑事が、メガホンを片手に彼に呼び掛ける。

「ヘイ！ユー！！お黙りなさい！さつさと、お金持ってこないと、

『東京喫茶・山田』の頬に、新たな1ページを刻むぜ！」

と、そんな呼び掛けを無視し、オ口勝は金を要求している。

「ひいー、刻まないでー！！」

と、わざとらしいリアクションを、今年で30歳の公務員の男性、東京喫茶・山田はした。

そんな様子を見て、彼女は、これは大変な事態だと感じた。

そして、彼女は、この場から離れ、近くにあった、本当に適当な公衆トイレに入って行った。

ジェリは、公衆トイレに行き、持っていたカバンの中から、ある衣服を取り出した。それは、暴走族の特効服。

今、着ているオシャレな服を脱ぎ捨て、その特効服に、彼女が着替えた。

すると…。

バキン！

公衆トイレのドアを蹴り壊し、どこかから持ってきた木刀を片手にトイレから出た。

さっきまで、可愛げなショートカットだった髪の毛をオールバックにし、さっきまで、大きく見開いていた目は細長い凶悪なメツキになっている。さっきのオシャレな彼女とは、まったくの別人だ。

説明しよう！越島ジェリは、多重人格者（辞書か、仮面ライダー電王、参照）である。着ている服で、自分の人格、性格が変わる斬新な多重人格の切り替え能力を持っている。

普段の彼女は、オシャレな服を着ていたため、キュートな性格であるが、特効服に着替えたことにより、彼女の人格は凶悪な暴走族のレディース番長になったのだ。

木刀を片手に、何故か、トイレの前にあつた愛車、カワサキ・Z400FXにまたがり、彼女は銀行へ、再び戻った。

どうやら、この凶悪な性格で、人質を取っているオ口勝と戦おうとしているのだ。

「ハイ！ユー！お金持ってきなよ！早く持ってこないと、豪華お

笑い芸人たちがレギュラーの『リンカーン』の再放送が始まるぜ！
と彼女は、バイクで銀行に戻っても、状況は固定されたままであった。

キキイ！とバイクを、その場に止め、彼女は木刀を片手にバイク降りた。

「なんだね、君は！」

一人の警官が、彼女に近寄る。

「邪魔だ！！」

と、前振りなしに、レディース・ジェリは警官を蹴り飛ばす。蹴られた警官は、数メートルくらい吹っ飛んだ。

そして、野次馬たちを払い避けながら、銀行の前、オ口勝の目の前に現れた。

「ヘイ！ユー！なんだね、チミは！？」

と、ジェリの登場にオ口勝は驚く。

「人質を解放しやがれ！！ドサピンが！！」

と、犯人に向かい、彼女は啖呵を切る。

「嫌だね！」

直ぐ様、断られた。

これには、短気な人格の今の彼女はキレた。

「なんだと！ボケナス！！」

木刀を片手に、ジェリはオ口勝を殴りかかろうとしていたが、警官達に体を抑えられ止められた。

どうやら、この人格では無理だとジェリは思った。

彼女は、警官の手を振りほどき、どこからか、またカバンを取り出し、特効服を、その場で脱いだ。人目も気にせず。

そして、彼女は、今度はキャリアアウーマンぽいリクルート姿に着替えた。オールバックから、髪の毛を、後ろ髪をまとめた落ち着いた髪型になり、眼鏡を掛け、倫とした出来る女性に変身した。

「ヘイ！ユー！なんの真似だね！」

と、いきなり着替えた彼女に向かいオ口勝は叫ぶ。

すると…、ジェリは…。

「おやめなさい！」

と、冷静で静かに怒鳴る。

これには、オ口勝は怯んだ。

「こんなことをして、なんになると言うのですか？馬鹿な真似は、おやめなさい！大体、人質を盾にした強盗が成功する確立は…」

と、リクルート服を着たことにより、冷静になった彼女は、ベラベラとウンチクみたいな知的なことを話し始めた。

そのウンチクをベラベラ喋りは、なかなか止まらない。これには、オ口勝は呆然とした。

すると…。

カシャン！！

ウンチク語り中のジェリの両手に、警官が手錠を掛けた。

「えっ？」

彼女は、驚いた。

一人の警部が、ジェリの目の前に現れ…。

「公務執行妨害、バイクを無免許運転、目の保養になったけど、猥褻罪などで、逮捕する…」

と、彼女に言った。

そして、ジェリは強制的にパトカーに乗せられた。

こうして、多重人格オシャレ少女、越島ジェリは逮捕された。

このあと、オ口勝の持っていた銃が玩具だとバレ、そのまま、逮

捕されました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1031c/>

オシャレ・ライダー

2010年10月31日04時49分発行